

令和元年度（令和元年～2年）NIE 実践報告

奄美市立名瀬中学校

1 テーマ

「より豊かな思考力・表現力を身につけさせるための新聞活用の在り方～NIE 実践2年目～」

2 はじめに

本校が NIE の活動に取り組むのは2年目となる。本年度は、昨年度から継続して行っているものに加え、新聞記事について意見文を書き、それを友人同士で交流する活動「名中タイム」を、校内の NIE 活動として位置づけて1年を通して取り組んだ。そして本報告では、①「NIE に2年間取り組んだことで見られた学力向上の成果」、②「授業の取組」③「名中タイムの実際」この3点を中心に記していく。

3 鹿児島学習定着度調査（国語）より

2年間継続して NIE に取り組んでいる2年生を対象に、昨年度・今年度の鹿児島学習定着度調査（国語）の結果から、NIE による学力向上の効果を検討した。数字を見てみると、全体的に正答率は増加し、誤答率は減少する結果となった。本校が NIE を取り組むにあたって特に意識をした「書くこと」「読むこと」の領域について、10%を越える大幅な上昇があった。しかし、無答率に関してはあまり大きな変化は見られなかった。自分の意見をうまくまとめられなかったり、書くことに抵抗感があったりする生徒がまだまだ多い現状である。今後の課題として、主体的に自分の意見を書くことができるよう、言語活動を工夫したり、継続的に活動を進めたりしながら、NIE によって無答率を少しでも減少させる効果を期待したい。

鹿児島学習定着度調査(国語) 現2年生 結果より			
	2019 年度	2020 年度	2020 年と 2019 年の差
話すこと・聞くこと	68.5 %	73.5 %	+5.0 %
書くこと	41.1 %	59.5 %	+18.4 %
読むこと	51.8 %	65.8 %	+14.0 %
伝国に関する事項	66.5 %	71.8 %	+5.3 %
平均通過率	57.2 %	68.8 %	+11.6 %
平均誤答率	31.9 %	21.6 %	-10.3 %
平均無答率	10.9 %	9.6 %	-1.3 %
【 基礎・基本 】			
	2019 年度	2020 年度	2020 年と 2019 年の差
平均通過率	60.5 %	73.4 %	+12.9 %
平均誤答率	31.9 %	22.6 %	-9.3 %
無答率	10.9 %	4.0 %	-6.9 %
【 思考・表現 】			
	2019 年度	2020 年度	2020 年と 2019 年の差
平均通過率	49.7 %	59.0 %	+9.3 %
平均誤答率	30.1 %	19.6 %	-10.5 %
無答率	20.2 %	21.4 %	+1.2 %

4 実践内容

(1) 国語科の授業による実践

第3学年 題材名：「評価しながら聞く」

評価規準

【話すこと・聞くこと】

イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。

エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。

【読むこと】

エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。

教師が選んだ新聞記事について、それぞれの書いた意見文を持ち寄り、グループ内での討論会を行った。「車の自動運転化に賛成か反対か」というテーマについて、それぞれの意見とその根拠を発表し、討論を行った後、考えが深まったところや考えが変わったところをまとめた。新聞記事を読んだ直後の意見と討論を終えた後では、かなりの数の生徒の意見が変わっており、他者の考えに触れたことで、考えが深まっている様子がわかった。また、賛成・反対の立場は変わらなかったものの、新しい視点に気付いた生徒も多く見られた。



↑ 対象となる新聞記事

令和元年5月4日（土）南日本新聞より

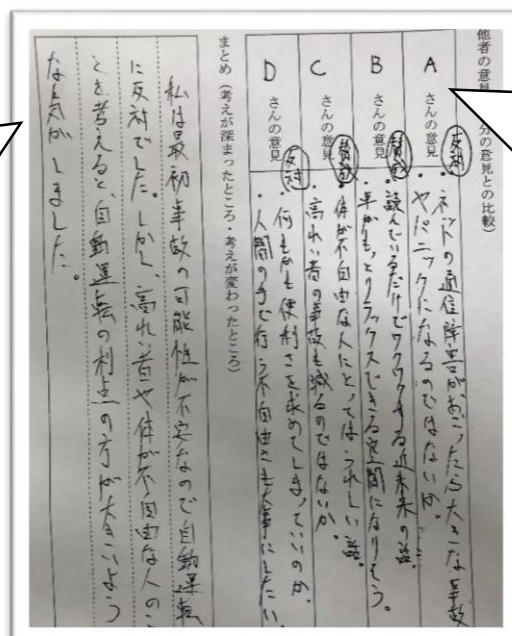
タイトル 「便利さの中の不安」

車が自分の家のリビングのようになる事は面白く、興味がわくことだ。しかし、今までハンドルで操作していた車からハンドルがなくなることは不安だ。自動運転になることで、本当に事故がゼロになるのだろうか。とっさの場合、最後には人間の判断が必要な気がする。

また、AIなどの技術がどんどん発達していくと、これからの世界はどうなるのだろう。職業など、AIに支配される未来になるのではないかと不安である。

↑ 生徒作品

討論会の後、考えが深まったところや考えが変わったところについてまとめを行った。討論前とは意見自体が変わったという生徒も多く見られた。



グループ内での意見交換と討論会を行った。他者の意見を記録して自分の意見との比較検討を行った。

← 授業ワークシート

(2) 名中タイムによる実践

土曜授業の朝の活動として、ワークシートの新聞記事に自分の意見を書き、友達や教師からコメントをもらい、考えやものの見方を広げる活動を行っている。本活動では、記事を読んで自分の意見を書き、思考力や表現力を向上させるだけでなく、他者の意見に対してコメントすることにより、多様な考えに触れさせ、互いの良さを認め合い高め合うことも目的としている。

活動を通して、活動中や休み時間に意見交換をしたり、次はどのような記事が題材になるか楽しみにしたりする姿が見られるようになってきた。以下、年度当初における実施計画である。

名中タイム（N I E）実施計画

学習指導係

1 目的

新聞記事を読んで感想や意見を書く活動を通して、授業等で培った基礎的基本的事項を活用しながら、思考力・判断力・表現力を身に付け、互いのよさを認め合い高め合う生徒の育成を図る。

2 期日

5月11日、6月8日、7月6日、9月21日、
10月12日、11月9日、1月11日、3月7日 土曜日実施 全8回

3 実施時間帯

8：15～8：35の20分間

4 活動の流れ

- (1) 新聞記事を読んで、自分の感想や考えを書く。(10分)
- (2) 4人グループをつくり、それぞれの感想や考えを読み合い、「同意」「反論」「付け加え」等、コメントを互いに書く。(5分)
- (3) グループ以外の友達のコメント読んだり、教師が紹介したりして、全体で共有する。(5分)

7月6日(土) 天気 <曇り> 名前

軽減税率の導入で3ヵ月
外食小売り不安拭えず

気になるニュース

タイトル増税による不安
税が10パーセントと高くなるこ
とで、店内での飲食と持ち帰り
の場合の差が出てくる。
同じ物を買っても、持ち帰りの方
が明らかにお得で、また、店
側が心配している通り、自己車を判
断すると、持ち帰り価格を買い、店
内で食べるという客も少なくな
いだろう。
私も、外食はせずに持ち帰り、別
の場所で食べると思う。だが、松屋
フーズの元の取扱価格を高くして、
差をなすのはいい考えだと思っ
た。
価格の
コメント

南日本新聞

新聞記事
話題になっている記事を取り上げ、生徒に社会への興味をもたせる。
初めは教師が記事を選び、段階を追って生徒（学習委員）が記事を選び、教師と相談して採用していく。

相互評価
友達の意見に対して、「同意」「反論」「付け加え」等をコメントする。
※ 教師がコメントを入れる場合もある。

自分の考え（自由記述）
記事を読んで自分の考えを書く。生徒の実態に合わせて、感想のみであったり、文字数が少なかったりしても「書いてみること（考えを表現・発信すること）」を第一に考え、書くことに苦痛を感じさせないように留意する。また、文章が苦手な生徒に対して、ペアやグループでアドバイスをしていく。

名中タイムワークシート



↑ 全学年が同じ時間に、同じ記事を読む



↑ 友人の書いた意見文にコメントをする



↑ 記事に関して主体的に意見交換をする様子



↑ 全学年が読むことができるよう掲示をした

5 成果と課題

【成 果】

- ・ 新聞記事を読む経験を重ねることで、読むことに対する抵抗感が薄れ、読んで理解する速度も少しずつ上昇するとともに、時事的な内容に感心をもつことができる生徒が多くなった。
- ・ 新聞記事を読むことで、書くための知識や語彙の獲得につながった。
- ・ 自分の書いた文章を友人から称賛のコメントをもらうことでそれが自信となり、書くための意欲に繋げることができた。
- ・ 鹿児島学習定着度調査における「書くこと」「読むこと」の平均点が向上した。

【課 題】

- ・ 新聞を読む活動を継続していくことで、今後も成果を見込めるが、2年間の取組が一過生の取組にさせないよう学校全体で継続的な取組を行っていく必要がある。
- ・ 無答率0%を目標に、また、生徒全員が自分の意見を書けるようになることを目指して、さらに書く活動や読む活動に力を入れて取り組んでいく必要がある。
- ・ 国語科だけでなく、教科を横断して学校全体で取り組むことでさらなる効果が期待できる。